

# 湯川三丁目町会の取り組み 「他団体との連携及び情報発信の強化」

発表者：青少年育成部 副部長 高橋かおる

## 本日の内容

- 1、課題と取り組みテーマ
- 2、連携に向けての工夫
- 3、「湯川小学校」との連携
- 4、「函館高専」との連携
- 5、取り組みの成果
- 6、おわりに



# 1.課題と取り組みテーマ

## 湯川三丁目町会の状況

### 特に解決が優先される課題

#### ①加入世帯数の減少

- この10年間で約100世帯減
- 加入世帯率(令和4年4月)
  - 函館市 50.3% (この20年で約22%減)
  - 当町会 40.1%

#### ②役員の手不足

- 当町会役員の平均年齢76歳

#### ③若い世代に積極的に参加してもらえない



昭和37年11月 設立  
昭和55年 町会館完成

# 1.課題と取り組みテーマ

## 湯川三丁目町会の状況

### 解決への第一歩

- ①町会活動をしっかり伝える
- ②親世代の関心を高め、参加につなげるため子どもへ働きかける
- ③情報発信のデジタル化や、活性化に向け他団体の力を借りる



### 町会活性化のテーマ

新たな人材の知識、アイデアの協力を得る

**“他団体との連携”**



町会活動をもっとよく知ってもらう

**“情報発信の強化”**

## 2.連携に向けての工夫

橋渡し役を “包括ゆのかわ” へ

若い世代の  
関心や参加に繋げたい

町会の情報発信に  
ついて見直したい

保護者世代の関心を  
得るため子どもと接点を

効果的な情報発信や  
デジタル化にむけた  
知識を得たい

湯川小学校

函館高専

包括が  
橋渡し役

# 3. 「湯川小学校」との連携

## アンケート調査を実施

- (対象) 3～6年生の児童とその保護者
- (内容) 町会の認知度  
町会活動に関する意識調査
- (回収率) 児童(60%) 保護者(54%)
- (工夫点) 簡単に答えやすい項目設定  
町会の活動紹介も一緒に配布



### 3. 「湯川小学校」との連携

#### アンケート調査の成果

“住民が町会をどう感じているか” が分かった

そもそもどんな活動をしているのかわからない

年配者だけが得をしている



○情報発信の不足が  
明らかに！  
○誤解をとくための  
取り組みが必要！



町会の運営に協力してもいい (42%)

子どもが多世代と交流できる場が欲しい

企画や準備から一緒に考えたい

優先順位が高いのは情報発信 → 「町会だより」のリニューアル

# 3. 「湯川小学校」との連携

## 湯川3丁目町会 ゆるキャラ募集

(対象) 3～6年生の児童

(内容) 湯川三丁目の“ゆるキャラ”を募集

### 成果「町会の“ゆるキャラ”誕生」

○町会だよりや様々な場面で活用が決定！



手のひらサイズの花の妖精  
「ルル」ちゃん

■性格 怒ったところを  
誰も見たことがない

■好物 ハチミツ～♡

■特技 植物説明、歌う事

■ゆめ 湯川三丁目をお花で  
いっぱいにする事

■くちぐせ 「ふいっ！」



ホットな49作品！！  
様々な場面で順次紹介予定！



冬休み～2月末まで  
町会館内へ展示中！

## 4. 「函館高専」との連携

「湯川学」の開催～湯川を伝える～



湯川をもっと知るために

(参加者) 函館高専生徒、担当教員  
町会、包括

(テーマ) 湯川の歴史や成り立ち

(講師) 地元の歴史に詳しい  
門脇義治氏



効果

- 湯川への愛郷心が育まれた
- メンバーの一体感が生まれた

「湯川学」を多世代交流の場として今後も続けていきたい

# 4. 「函館高専」との連携

## 「リモート会議」で意見交換



町会だよりを読む側の視点で提案

対象に合わせた見せ方が大事

加入ターゲットを絞って促しては

町会同士での連携も重要

祭りなどで結束力生まれやすい

QRコードの活用も効果的

すぐに活用させて頂いた意見

- ①文字を大きく
- ②縦書き→横書き
- ③イラストや写真を多く
- ④町会行事を目立つ位置へ
- ⑤B4→A3へ
- ⑥テンプレート提示



# 5. 取り組みの成果

## ① 「町会だより」をリニューアル

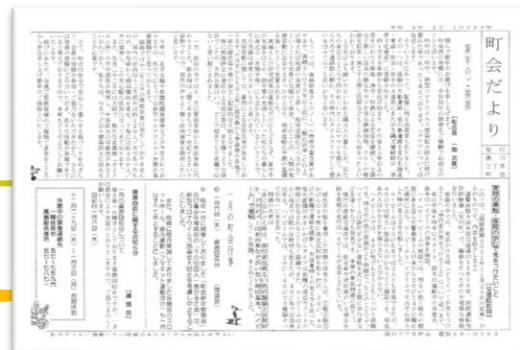
### 以前の町会だより



# 5.取り組みの成果

## ①「町会だより」をリニューアル

### 新しい町会だより（おもて面）



#### 湯川三丁目町会だより

# ほかほか通信

令和5年 1月

発行：湯川三丁目町会 電話059-0183  
発刊日：令和5年1月1日 34号

＜町会だよりに込めたい＞  
“お島の通かり” “人の心の通かり”があり、町会がみんなにとって、“働くの通かり”と名前通り通って名前がつけられた。（兼平 富博さん）

#### 新年を迎えて

新しい一年が始まりました。新年は「医療市地域活性化モデル事業」を通して各層の連携、湯川川の児童さんとその保護者層から様々なご意見を伺う事ができました。本年はその寄せられた声を実践し積極的に取り入れながら、皆様とって「安全で安心な住みよい街づくり」を目指して努力してまいります。

同じ地域に住む人たちが互いに助け合い、支え合い、絆を深めながら活動できればと思いますので、今後とも皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。皆様のご協力で新年をむかへ新年申し上げた新年のご挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願い致します。

#### 《ご報告》町会活性化モデル事業の取組み

町会では、加入世帯数の減少や担い手不足、高齢者率や世帯率が高いなどの課題があり、今後に向けて町会での対応が必要だと考えております。また町会加入が当たり前だった頃と比べ、町会が必要性的認識も薄れ、若い世代の町会離れが進んでいるように感じております。

そこで、8月号でもお伝えしましたが、町会が伝える課題を答え、新たな取り組みにチャレンジするモデル事業に取り組みしております。町会役員と連携して町会の「企画会議」を企画。朝に企画会議に向け進めておりまして、今後も町会だより等にて報告させていただきます。

～企画会議の様子～

#### 高専学生さんが新たな情報発信に協力

“情報発信能力に優れた若い力”を求め関係者皆さんに連携を打診したところ快く賛同下さり、心強い学生さん達が4名お協力に名乗り出てくださいました。コロナ禍のためのWEB配信等も得意。その中で多世代に親しみを持ってもらうため町会独自のレイアウトの改善等、務め自前で多くの提案を頂きました。今後、必要となる情報発信のデジタル化に向け引き続き協力の機会を頂戴いたします。本当に感謝申し上げます。

～パソコンの画面を並べたWEB配信の様子～

#### 町会館の紹介

＜湯川三丁目町会館＞  
お気軽にお立ち寄りください♪

＜お問合せ＞  
湯川三丁目38-51  
電話 059-0183

#### 年末年始の休館日のお知らせ

■12/29(木)～1/3(火)

休館中の緊急連絡先  
■副会長様 057-7871  
■町会会計係様 059-2413

#### 1月の行事スケジュール

- ◎ 1月6日(金) 新春恒例行事（健康祭）
- ◎ 1月10日(火)～ シニア乗鞍法（保健部）
- ◎ 節分行事は2月3日(金)16時～開催予定です。
- ※ 恒例の新年会（町会）、かるた会（青少年育成部）はコロナ後の中止します。
- ※ カラオケ、スロットボール（保健部）は1月、2月は中止します。

※ 新春恒例行事、恒例行事1次開催としておりましたが、1月は都合により変更となっております。

#### 思いをつないで・・・

早すぎる様立ちました。一問会長は12月14日入院、ところが17日に急変されその日の早朝に逝されました。会長の原点は「まずは会員、町会のためになること」でした。

町会費還元ごみ袋の配布においては、会長が率先し全世帯分のごみ袋を購入して区長さん出長さんのご協力の下、全会員に配布することができました。

町会活性化モデル事業には、「町会のためになるなら」と、積極的に応募し、逝去される直前12月9日にも会議を行い年度内の取り組み方針を確立されておりました。「町会加入世帯数の増加のためにも、若い世代に加入してもらいたい、他団体などとの連携で活動の幅を広げたい。

この町会を維持していきたい」という会長の強い思いが込められています。今回の町会だよりのレイアウト変更も、この事業から生み出されたものです。我々役員は、会長の思いを繋ぎ会長が強い決意で取り組んでいた。「町会活性化」に向け、心をつないでいきたいと思っております。

会長の思い達成のためにも会員の皆様のご支援ご協力をお願い致します。（総務部より）



# 5.取り組みの成果

## ②発行体制の見直し

効果的・効率的な作成へ

<以前>

- 会長が一人で原稿募集から完成まで
- 割り当て切れない配布先は町会長が持参



<見直し後>

- 実行委員会形式で編集委員結成
- 作成までの工程を明確化  
(編集会議→原稿づくり→紙面づくり→校正→印刷→配布)
- テンプレート活用で作業負担軽減
- 連携を意識した配布先の見直し



パソコン勉強会

# 5.取り組みの成果

## ③新たな連携の始まり

函館市医師会看護・リハビリテーション学院と…

連携したいと思っていました  
一緒に行事がしたいですね



### 令和5年度計画 決定!

- ☆5月…**合同健康まつり**開催
- ☆6月…**認知症予防カフェ**開始  
(ぽかぽかカフェ)



副会長、保健部長が看護学校へ  
(町会だよりを持参しながら懇談)

# 6.おわりに

## ～町会活性化のカギ～ 「他団体との連携と情報発信の強化」



人的支援  
新たな知識  
アイデア



効果的な情報発信  
デジタル化  
連携の働きかけ



# 地域包括支援センターよりお知らせ

ご参加の皆様へ

地域包括支援センターでは町会さんの課題に合わせて連携のお手伝いをさせて頂いています。

「こんな取り組みがしたい」

「一緒にやってくれるところがないかな」等

圏域の担当包括支援センターへ

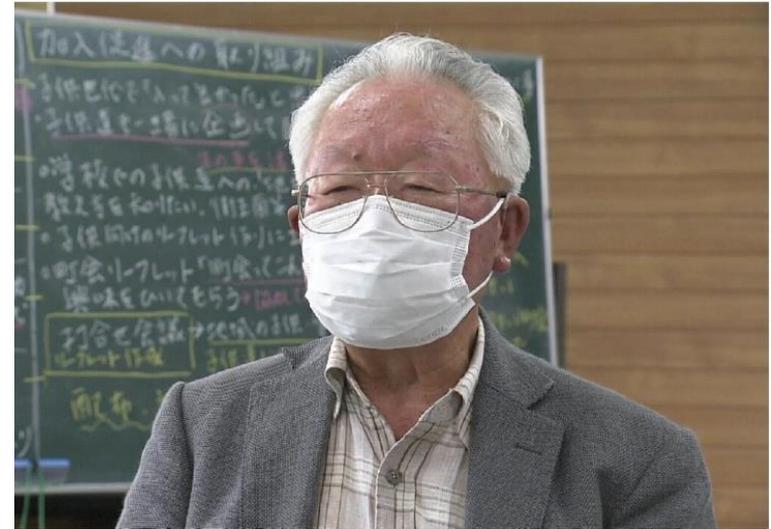
お気軽にご相談下さい。

お待ちしております。



「何でもうまくいくとは  
思っていないけれども  
一歩でも前進できればいいと思う」

(湯川三丁目町会 一関次雄会長)  
・・・R4.6.17 企画会議にて



## 一関会長の思いをつないで...



ご清聴、ありがとうございました